



佐倉市立上志津中学校

泰山木



H26.3.13
発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	108名
2年生	115名
3年生	115名
計	338名



お世話になりました

卒業生代表 Y・S/H・Y



「いつまでもお元気で！」

校長 山口 俊久

百十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。素晴らしい伝統と歴史を作ってくれた皆さんに贈る言葉。

【論語】

孟子伯、孝を問う。

氏曰わく、父母は唯其の疾を之れ憂う。

『通釈』

魯の国の家老であった孟子伯が、ある時、孔子に孝を尋ねた。孔子が言った。父であれ、母であれ、両親というものは、子どもの病気のことばかり心配しているものだ。（だから、子どもは、親のその心にそって、自分の健康に留意するのが、親孝行というもの）

親という者は大変ありがたいもので、子がいくつになっても心配なものです。私とて、この年（六十歳近く）になっていきますが、親あつての子であり、特に母親は心配のようです。両親が健在であることが、大きな支えとなっています。十五才になった、あなたたち。約二百八十日、お母さんのお腹の中で大事に大事に育てられ、みんなに喜ばれ、この世に産まれてきました。熱があれば心配し、ケガをすれば心配し、立った・歩いたで喜び、泣いたり笑ったりで十五年。感謝ですね！いつまでも、親には元気でいてほしいと願うと共に、自分自身も健康であつてほしい。これは、ご両親に限らず、ご家族・知人、そして我々上志津中

学校職員も願っていることです。そしてもう一つ。

「フランクリン（アメリカの政治学者）」

寒かった年の春には樹木がよく茂る。人は逆境にきたえられてはじめて生まれる。

高校選抜試験という壁に戦いを挑んだみんな。よくぞ頑張った！

予餞会の挨拶で言ったかと思いますが、第一希望校に入学候補者になった人、第二希望校に入学候補者になった人。大きな違いはないです。本当の戦いはこれからです。卒業は、新たなスタートなのですから。前出の文は、『寒かった冬を耐え抜いた樹木は、春の暖かい陽光を浴びて一斉に成長を始めます。美しい花を咲かせます。人間も苦しい試験を耐えて、はじめて立派な人間に成長ができるのです』というような意味です。今みんなは、厳しかった冬を乗り越えました。きつと素晴らしい未来があることでしよう。ただし、待っているだけでは、当然ダメです。『努力』この二文字を忘れないでほしい。そして、美しい花を咲かせてください。どんな花を咲かせるかは、あなた次第です。

記念すべき本校四十回目の卒業生。もしかすると、みんなが満足できるような教育活動を保障してあげることができなかったかもしれません。しかし、私たちは今日、自信を持って「上志津中学校の卒業生」として本校から送り出します。

頑張れ、卒業生！ いつまでもお元気で！



生徒会役員を務めて学んだことは、一つ目「團結力」です。生徒会本部役員が7人が協力するのはもちろんのこと、生徒会の会員である全校生徒が協力しなければ、良い学校は作られません。だからこそ、生徒一人ひとりが意識を持って行動することが大切だということを学びました。二つ目は「あきらめないこと」です。当り前のことですが、これがけっこう難しいものです。例えば、生徒総会ではたくさん意見が出て、まとめることに苦労しました。しかし、そこで粘りあきらめないことが、これからの生活に生かしていけると思いました。後輩のみなさんには、最後まであきらめず一つひとつ困難に立ち向かうことを大事にしてもらい、そして四十年受け継がれてきた上志津中学校の伝統を、これからの上中生に伝えていくてください。3年生のみんなは、義務教育が終了し、自分の決められた道だからこそ、途中で逃げたりのないでください。いつか失敗したり、あきらめたいと思ったりした時に、自分の決められた道を信じて突き進んでください。自分に自信が持てなくても、突き進んでみれば、きっと良いことがあると思います。それぞれに課題や目標が違つと思いますが、自分の決められた道をしっかりと歩んでいきましよう。

最後に「人に優しく、自分に厳しく」ということが今の私たちに必要なことだと思ひます。難しいことかもしれませんが、心がけ次第では、上手な人間関係を築いていけるのではないのでしょうか？それでは、今までお世話になった方々に感謝して一日一日を大切にしていましよう！

卒業おめでとう！

三年生職員より



□3 学年主任 海老原

「失敗は成功のもと」です。たくさん失敗を繰り返して、そこからどうするかを考えられる大人になる。若いのがやり直しができます。みんなとは一年間ですが、一緒にの学年で楽しかったです。

□1 組担任 那須

「全て自分次第」です。他人や環境のせいにならない人になりましょう。変えるのは、周りではなく自分です。そうすれば、何でも前向きに考えることができます。卒業おめでとう、ありがとうございます。

□2 組担任 御堂

「Boys be ambitious」少年よ大志をいだけ、という意味です。大きな志を持って、これからの人生を歩みましょう。何事にもチャレンジが大事です。卒業おめでとう、ありがとうございます。

□3 組担任 加瀬

「努力しないものは不平を語り、努力するものは夢を語る。」自分の夢に向かって、努力を積み重ねられる人間になりましょう。努力はきつと、みんなを裏切りません。卒業おめでとう、ありがとうございます。

□4 組担任 竹内

「天才は努力する凡才である」天才とよばれる人たちも、初めは周りの人と変わりません。何か1つの目標を決めて、それに向かって突き進められるようになる。卒業おめでとう、ありがとうございます。

□副担任 河野

「一期一会」出合いがあるから別れがあり、別れがあるから出合いもあります。

これからの出合いを大切に、一步一步を歩んでいきましょう。卒業おめでとう、ありがとうございます。

□副担任 加茂

「うしろを振り向く必要はない。あなたの前には、いくらでも道はあるのだから」前を向いて、自分の決めた道を信じて、4月から頑張ります。



在校生が「卒業おめでとう」



予餞会、お疲れ様でした。

十一月の終わり頃から準備をはじめ、大変なこともありましたが、ちゃんと予餞会が完成して本当にうれしかったです。急遽はじめたライトアップもきれいに仕上がって、三年生に喜んで頂けたし、歌で涙して下さった方もいて、みんなで頑張った良かったなと思います。

二年生は、予餞会を作るのはこれで最後です。これからは、すべての行事が最後になっていきます。仲間と過ごす残り少ない時間を無駄にしないように一年を過ごしましょう。一年生は、来年は予餞会を引っ張る立場になります。新しい一年生と一緒に、今年を超える予餞会を作ってください。

この約三ヶ月の間練習に協力して下さいました。二年生の皆さん、本当にありがとうございます。

【予餞会実行委員長 Y・M】

*** **

本年度の予餞会は、内容を厳選して実施しました。吹奏楽部、演劇部による素晴らしい演奏と劇、そして、一・二年生による群読、スライド、歌の発表は、文字通り三年生への餞（はなむけ）になったと思います。三年生は、一つひとつの発表に歓喜し、感動してくれている様子でした。新しい生活に進む三年生が、予餞会での後輩からのエールを胸に、気持ちよく卒業して頂けることを願います。

【予餞会担当 R・S】



お知らせ

3年間の給食への感謝を伝えるために、3月10日に全校で給食の調理員さんへお礼の会を開きました。健康委員会を中心に、給食が最後になる3年生全員からのメッセージと、全校生徒から「大地讃頌」の歌を送りました。3年生にとっては、義務教育9年間お世話になった給食ともこれでお別れです。給食の有り難みを改めて感じる事ができたと思います。



いのち 生の大切を学んで 養護教諭 高原 智子

三月三日、助産師の島森孝恵先生をお招きし、三年生を対象に、性と命に関しての講話をしていただきました。助産師という命に寄りそう現場で感じたことや生命の力強さ、命を育む責任、男女の対等な関係等について教えていただきました。「性」と聞くと「嫌だな」「恥ずかしいな」と感じる人も多いかもしれませんが、実は生きていく中でとても大切で、かけがえのないものだということを知ることができたのではないかと思います。

また、三月七日には学校薬剤師の齋藤 正昭先生に「薬の正しい使い方」についての講話をしていただき、薬の種類や効き方、用法、副作用について教えていただきました。知っている。ようで意外と知らないことを教えていただき、きつと卒業後の生活に役に立つことと思います。正しい知識と情報をしっかりと身につけて、自分も相手も大切にできる大人になってもらいたいと思っています。

